

長崎県のダムをもっと身近で感じてみませんか

長崎県には、国の重要文化財である本河内高部・低部ダムをはじめ、魅力的なダムが多数あります。近年は「ダムカード」を目的に、県外から年間約3,000人が県内37か所のダムを訪れ、新たな観光資源として注目されています。長崎振興局では、ダムの魅力をより身近に感じてもらえるよう、3次元モデルや動画などを公開するWEBサイトを新たに開設しました。

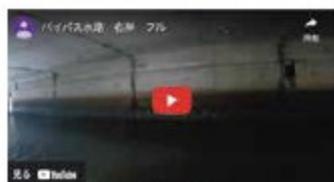
～長崎の土木遺産をもっと身近に～

サイトへはこちらのQRコードから



本サイトは、令和5年度に長崎大学を始めとする産学官連携の下、長崎大水害で被災した中島川周辺の災害復旧において、復興のシンボルである眼鏡橋や日本で2番目に古いコンクリートダムである本河内低部ダム等の土木遺産を保全しながら行った河川やダムの整備について、3次元モデルや360度カメラで撮影した動画を活用することで、内容をわかり易く取りまとめたものです。

自由に動かして見ることができます!



バイパス水路 360度カメラ動画



本河内低部ダム3次元モデル



中島川水系の洪水対策

～長崎県DAMDAS(ダムダス)～

サイトへはこちらのQRコードから



上記の「長崎の土木遺産をもっと身近に」内に、長崎振興局管内のダムを対象に、ダム堤体の3次元モデルを始め、監査廊や取水放流設備等の普段は見ることができない、ダムの魅力を発信するため、令和7年3月から新規コンテンツとして「長崎県DAMDAS(ダムダス)」追加しました。



今後も随時追加予定です!



監査廊 360度カメラ動画



取水放流設備モデル